

認定NPO法人シーズネット非常勤役員の寄稿

＜2026年4月号～2027年3月号まで、外部役員7名の方々からの寄稿文を掲載します＞

拙文ながら一筆申し上げる



本業は福祉団体支援。主に指定事業（介護・障害・子ども）を運営している団体が会員となっている。北海道NPOサポートセンターで6年、福祉NPO支援ネット北海道で20年。生粋のNPO人である。さわやか福祉財団のインストラクターもずっと続けており、こちらは制度枠外の助け合いを支援する活動。さわやか福祉財団の活動中に岩見太一さんと出会い、ご縁があってシーズネットの理事のひとりに加えてもらっている。

よく「NPO法人と企業とどう違うのだ？」「やっていることは同じではないか」と言われることがある。介護保険事業などは法人格さえあれば参入できるから、介護事業所を運営することはほぼ同じ。おっしゃる通りだ。ベクトルの向きが違くと説明している人がいた。これは分かりやすいと思ひ、使わせていただいている。事業をするときの目的が出発点。成し遂げた先にあるものが到達点。と仮定すると、企業の出発点は利益を得ること。到達点には利益を得た先の社会貢献がある。NPO法人は全く逆。出発点は社会貢献。活動して得た結果に利益がついてくる。NPO法人は誰かの役に立てると嬉しいと思っているとても単純な人が多いと感じている。みなさんはどうだろうか。

理事 山本 純子
(次回は、理事 細田 高さんです)



サークル間リレー



(244) 「歩こう会」

歩こう会は歩くのが好きな人が集まり、月に1回例会を開催しています。主に札幌市内を歩いています。普段見落としていた建物、外観だけ見ているだけの建物をチョコット拝見、郊外の風景、植物、樹木、自然と触れ合うのに一人で見ると仲間で見るとでは見方、楽しみ方が異なります。また仲間と歩きながらの会話も楽しいものです。皆さんの参加をお待ちしています。

次号は(245)「グラウンド・ゴルフ倶楽部」

編集後記

3月号に感謝の言葉「ありがとう」が飛び交うシーズネットにしましょうと書きましたが、残念ながら「ハラスメント」の苦情です。昨年2件、今年2件と4件のうち新しい会員から3件、サークル代表世話人には私から嚴重注意したり、再発防止等々また本人に直接注意しますが、起こす本人の感覚が時代錯誤で悪気ないと思っている事が多いです。現在は「受けた本人が不快に感じる事がハラスメント」に当たります。「初参加会員」は期待と不安を持って参加しているものです。シーズネットの会員として恥ずかしくない言動をお願いいたします。(笠谷 記)

QRコードを活用してシーズネット
ホームページをご覧ください。



会員数 (3月末現在)

総数：709名(旭川支部202名/函館支部67名)

- ・正会員：71名 男 189
- ・賛助会員：631名 女 513
- ・団体会員：7名 702
- ・平均年齢：76.5歳

シーズネット通信5月号 <<通巻293>>

2026年(令和8年)5月1日発行

発行責任者 奥田 龍人

発行所 認定NPO法人シーズネット広報課

〒001-0010

札幌市北区北10条西4丁目1番地SCビル2階

TEL:011-717-6001 FAX:011-717-6002

AM10:00～PM4:00 土・日・祝・年末年始 休み

e-mail: seedsnet@abelia.ocn.ne.jp

URL: http://www.seedsnet.gr.jp

広報専用e-mail: koho@seedsnet.gr.jp